

令和 4 年度

えん 第1回 ふらっと縁カフェ

座談会 ～ものづくり職人×市長～

◆日時: 令和 4 年 6 月 9 日(木)

15:30～

※概ね 1 時間程度を予定しております

◆会場: 八雲塗やま本 店舗内

(島根県松江市末次本町 45)

◆参加者: ものづくり職人 4 名

※詳しくは裏面をご覧ください

※八雲塗やま本

(株式会社山本漆器店)

明治 23 年(1890 年)創業



ふらっと縁カフェとは・・・

「ふらっと縁カフェ」とは、市民の声を市政に届ける機会が創りたいという職員の思いから誕生した事業です。気軽・Flat に、縁側でお茶をする感覚で縁をつなごう、という意味を込めて、市民と市長がフリートークを行います。今回は、松江のものづくり職人の方にご参加いただき、松江で活動するなかで感じることや今後のライフプランなどそれぞれの思いを語り合います。

- ◆新型コロナウイルス感染症対策を行い実施いたします。
- ◆状況によっては、延期または中止となる場合がございます。
- ◆なお、当日は一般の方の飛び入り参加・傍聴はお断りしていますのでご了承ください。



↑昨年度の開催の様子はこちら
(YouTube)

【お問い合わせ】 市民生活相談課 伺います係 渡部・岡田・石倉

TEL:0852-55-5677 FAX:0852-55-5544 E-Mail:koe@city.matsue.lg.jp



松江市 ふらっと縁カフェ



↑ふらっと縁カフェ (HP)



～松本 尚子さん(陶芸作家)～
【陶風舎】

市内窯元(袖師窯、火の川焼松江陶苑)師事したのち、市内にて独立開窯。陶風舎という屋号で活動。ものづくりには、「土の風合いを生かした形、デザイン」をテーマにしている。温かみのある色合いやデザインは女性からの支持が高いが、男性ファンもいる。各地の有数なクラフト展、陶磁器フェスタに出展。



～野津 智恵子さん(出雲民藝紙作家)～
【izumoiro】

izumoiro という屋号で活動。

出雲民藝紙を材料に、アクセサリーやアロマディフューザー、神棚に飾る榊、造花作品など、出雲民藝紙の持つ。

「癒し」「手仕事の温もり」「自然からの贈り物、エネルギー」を皆にお伝えしたい、という思いで活動している。イベントなどでのワークショップ、実演販売なども行う。安部栄四郎記念館のある八雲で栽培している和紙の原料、三桠の栽培、管理などにも関わっている。英国王立美術家協会 2022 名誉会員にもなっている。作品集"MINERVA2022"は全国の書店でも販売中。



～長谷川 三芳さん(ガラス作家)～
【glass house pase】

glass house pase という屋号で活動。

学生時代にガラスの独自の美しさと技法の奥深さに魅了されたのち、東京のガラス工房にて学び、就業したのち帰省。自然の中で育ち、山や海をテーマにした作品や、美術館を通してインスピレーション(作品や人、空間)を受け作品を作っている。

県立美術館にも作品を販売していたが、夕日やマジックアワーをイメージした、松江だからこそ作ることのできる作品作りもしている。

松江市にアトリエを設け、ワークショップ、百貨店の催事、イベントなど出展経験多数。



～長屋 桃子さん(漆作家)～
【やま本漆器店】

松江の高校を卒業後、石川県にある金沢美術工芸大学で漆を学ぶ。

昨年、U ターンで島根県に戻ったが、島根県で漆業を営む店が減っており、このままじゃダメだという想いから精力的に広める活動を行っていきたいと考えている。

クラシックポップをモットーに漆の作品を作っており、伝統技術×新しい感性で幅広いジャンルの作品がある。漆のルアーなど漆の特性を活かしつつ、趣味へこだわる方へ特化したものもある。

イギリスロンドンで行われたハイパージャパン 2018 に現地販売も行っている。

